

2005年2月23日

京都大学未来フォーラム（第11回）を開催

京都大学では、恒例となった未来フォーラムの第11回を時計台記念館・百周年記念ホールで開催しました。

今回は杉山正明文学研究科教授の司会で、本学文学部卒業生

で奈良の華嚴宗館長・東大寺別当の森本公誠氏に「仏教僧がイスラムを学ぶ-地球未来に仏教思想はいかせるか」をテーマに講演していただきました。

森本氏は、これまでの研究や豊富な経験をもとに、21世紀を文明の衝突の世紀としないためにも、一人一人が自らの規範を律し、争いを乗り越えて行動することが望まれることや人類の安寧という目的をもった哲学が必要でその確立に仏教思想が役にたてることを語られました。参加した約180名は、メモをとりながら真剣に聞き入っていました。

